

令和3年度事業報告

1. 事業概要

令和3年度も新型コロナ感染は引き続き拡大・減少を繰り返し、滋賀県でも夏から秋にかけ、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発令があり、また、年明けにはオミクロン株の流行により感染者数が急増しました。コロナ禍は当センターの実績及び事業活動に大きな影響を及ぼし、派遣事業を含む契約金額は、対前年度比マイナス5.9%の2億835万円となり厳しい状況となりました。

会員拡大の取り組みについては、例年の入会促進に加え、女性会員獲得のための募集イベントを計画しましたが、新型コロナウイルス感染者の急増のため止む無く中止となりました。会員数は、令和4年3月末現在514人となり前年度同時期より36人の減少となりました。これは継続雇用制度等の定着により、65歳未満の新規入会者が減少し、既存会員の高齢化が進むことにより入会者と比較して退会者が増え、会員数の減少に繋がっていったものであり、センターにとって憂慮すべき事態となっております。

安全・適正就業の推進については、安全だよりを発行し、安全就業に係る啓発記事、県内で発生した傷害事故発生状況を掲載するなど、情報提供を行ったほか、安全パトロールや刈払機安全講習会を開催しました。傷害事故は3件で前年度より1件減少し、損害賠償事故は1件となり前年度より3件減少し、重篤事故もなく一定の成果を上げました。

令和3年度のセンター事業については、基本理念「自主・自立、共働・共助」のもと、活力ある地域社会づくりの役割を担う公益法人として、国・県・市等関係機関のご理解とご支援をいただき、会員の皆様のご協力のもと、事業運営を行ないました。事業実績、会員獲得について、厳しい状況が続いておりますが、地域社会にとって、かけがえのない存在として果たす役割は、益々増大しており、地域社会に貢献する公益社団法人として以下を重点事業として実施しました。

(1) 会員の拡大と就業機会の確保

自らの経験や能力を地域社会で生かして生きがいの充実や社会参加を図るための入会促進及び就業機会確保の取り組みを行なった。

○月2回の定例及び臨時の入会説明会の開催、広報紙「シルバーやす」、チラシの新聞折り込み及びポストイン(地域限定)、自治会の隣組へのチラ

シ回覧、のぼり旗等による啓発活動、会員からの入会者紹介制度の活用、WEB入会の開始などにより会員拡大に取り組んだ。

- 10月の普及啓発月間中の役職員等による企業等の訪問は、コロナ禍により事務局が企業訪問し、文書による啓発と就業機会の提供を依頼した。

(2) 安全就業の徹底と適正就業の推進

安全・適正就業はシルバー事業を行なっていく上で最優先課題であり、会員の安全管理の徹底と安全意識の高揚を図るため、安全・適正就業委員会の開催と就業現場での指導、安全推進スローガン「指先に心をこめて、指差喚呼」の周知を行なった。

- 毎月開催する安全・適正就業委員会では、会員の就業現場や事故の発生現場への安全パトロールを実施し、事故の検証と安全就業についての協議を行ない、事故防止に努めるとともに偶数月に発行する「安全だより」等による啓発を行なった。

- 7月の「安全・適正就業強化月間」において、のぼり旗等による啓発活動を行うとともに安全就業の意識づけと事故防止を図るため就業用機械・器具及び安全保護具の点検整備を実施した。

- 刈払機安全講習会を開催し、事故防止を図るため、外部講師による講義及び実技講習を実施した。

- 入会説明会等での「適正就業ガイドライン」の周知を行った。

また、行政や福祉関係機関との連携を深めて地域のニーズに的確に応えられるよう取り組みを進めた。

(3) 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターをより広く理解いただき事業活動を促進するため、市内事業所等への啓発活動の実施及び啓発資料の発行や会員による奉仕活動を行なった。

- 広報紙「シルバーやす」を8月と1月に発行した。

- 10月における普及啓発月間では、のぼり旗を掲示し啓発に努めるとともに、「シルバー環境美化の日」に市内全6小学校の校庭で除草作業を実施した。

- 地域班主任での学区別奉仕活動では道路の清掃を実施し、啓発活動を行った。

(4) 事務局運営の効率化と適正化

安定した収入財源の確保並びに運営経費の効率的な運用と縮減に取り組む等、適正な事務局運営に努めた。

(5) 職業紹介事業の実施

臨時的、短期的な業務または簡易な業務について、各事業所等からの要請があれば会員への就業情報の提供をすることとしている。

(6) 人権問題の取り組み

センターは地域社会の一員であり公益法人であることの自覚のもと、人権問題は地域社会全体の問題であることを認識し、行政機関や関係団体等と連携を密にしながら人権が尊重される組織づくりに努めた。

- 野洲市企業人権啓発推進協議会主催の研修会等への参加
- 地域班会議で人権研修を実施
- 偶数月発行の“事務局だより”の人権コーナーに啓発記事の掲載